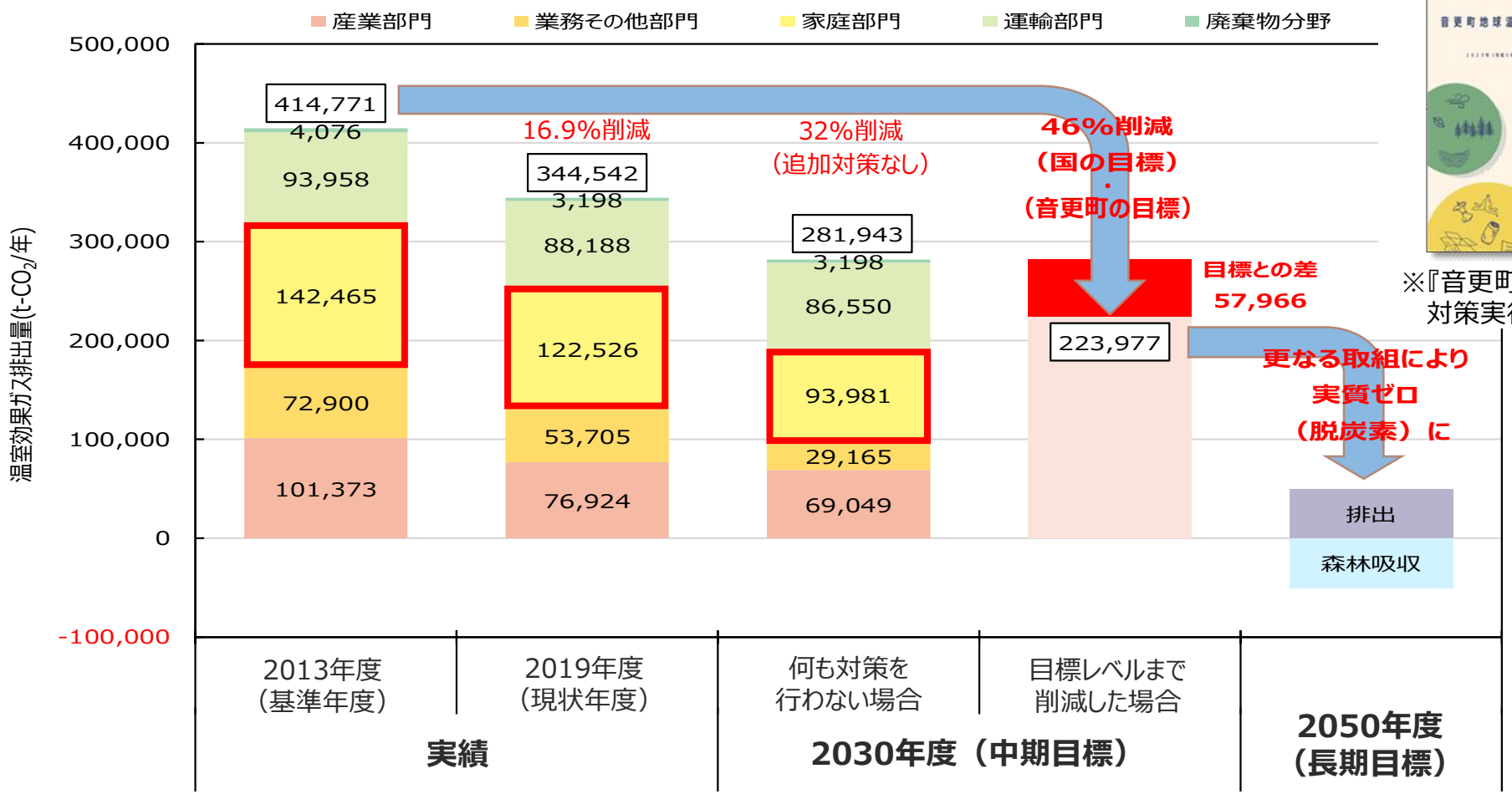
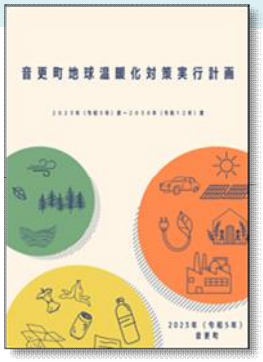
音更町のゼロカーボン推進に向けた取組

資料４

１　現状と課題

○ 2019年度（現状）における町全体からの温室効果ガスの排出量は年344,542ｔ
○「業務その他部門」に含まれる行政からの排出割合は8,681ｔで全体の2.5%程度
・・・ 民間（特に排出割合が最も高い**家庭部門**）を巻き込んだ幅広い対策が急がれる





※『音更町地球温暖化対策実行計画』より

音更町のゼロカーボン推進に向けた取組

2　課題解決に向けた取組

○ 町民や事業者を対象としたアンケートでは「再エネ導入や省エネの取組」の関心が高かった
○ 高校と短大のワークショップでは「家庭での再エネ・省エネ機器の導入促進」が提案された
・・・ 従来までの太陽光導入に対する補助制度を見直すとともに対象機器等を大幅に拡充

町民みんなで推進するゼロカーボン事業補助金

家庭部門から脱炭素を推進する持続可能なまちへ

再エネ導入

蓄電池

防災性向上

V2H

電気自動車

エコキュート

エネファーム

エコフィール

エコジョーズ

生ごみ処理機

コンポスター

省エネ改修

ごみの削減

補助要件の見直し

太陽光発電システム

○ 音更町では、平成19年度から累計で1,000件以上を補助。
○ 町民に加え、事業者も補助の対象となるよう、内容を拡充。
○ 補助額の上限は10万円。

新規メニュー（１）

省エネ型給湯器

- **エコキュート（熱源：電気）**
- **エコフィール（熱源：灯油）**
- **エコジョーズ（熱源：ガス）**

○ 給湯は年間を通じてエネルギー消費が大きいため、それぞれの家庭の熱源に応じた省エネ型の機器を補助対象に追加。
○ 補助額の上限は3万円。

新規メニュー（２）

デジタル防災機器

- **蓄電池**
- **V2H(ビークル・トゥ・ホーム)**
- **電気自動車**
- **エネファーム**

○ 温室効果ガスの削減に加えて、災害に伴う停電時でも電気や熱を確保することができる機器を補助対象に追加。
○ 補助額の上限はエネファームが8万円。それ以外が5万円。

新規メニュー（３）

堆肥化等設備

- **コンポスター**
- **生ごみ処理機**

○ 生ごみは処分場での焼却時には多くのエネルギーを消費するため、重量を減らしつつ堆肥化する機器等を補助対象に追加。
○ 補助額の上限はコンポスターが2千円。生ごみ処理機が2万円。